

区分 ネットワーク技術を活用した分野

(サブタイトル)「IT/IoTセキュリティ人材育成プログラムの開発」

(開発した訓練の特徴等)

- 訓練の内容:
- ・IoT技術者向けのITとセキュリティに関する基礎学習
 - ・基礎学習で学んだ知識に関する実機演習
 - ・実際の現場でどのように役立つかに関する学習

訓練の対象となる業種・職種等:

- ・IoT機器や、IoTシステムの設計・構築・運用に携わる人材が対象
- ・IoTシステムを事業で利活用するすべての業種が対象となる

(受講のメリット)

- ・IT/IoTシステム全般に必要なセキュリティに関する知識を習得できる。
- ・様々な企業や業種で適用可能な、「IT/IoTシステムのセキュリティ機能の社会実装」に関する知識を学習できる。



集合型での実施



遠隔講義の実施

(実施した時の環境等)

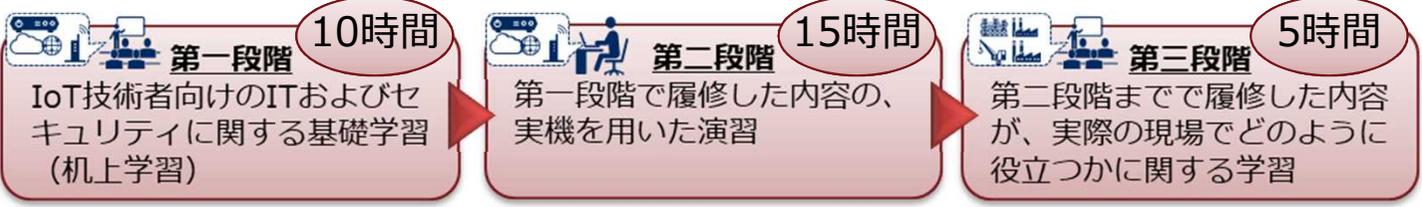
- 訓練の内容: IT/IoTセキュリティ実践講座
募集期間 : 令和元年8月13日～8月23日
応募人数 : 25人
- 受講人数 : 20人(検討委員会の選考により受講者を決定)
受講日時 : 令和元年9月13日～令和2年3月8日
受講料 : 開発事業期間中に実施する
「開発した教育訓練プログラムの実証」とし、無償で実施
- 社会人受講生のための配慮:
- ・eラーニング、オリエンテーションの録画配信、ZOOMを利用した遠隔講義
 - ・Google Formを利用した自己評価、単元テストの実施

区分 ネットワーク技術を活用した分野

(訓練を実施する上で注意する点)

訓練の内容: IoT機器・IoTシステムのセキュリティ機能を理解し、社会実装が可能な人材の育成

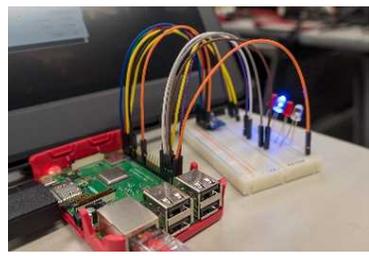
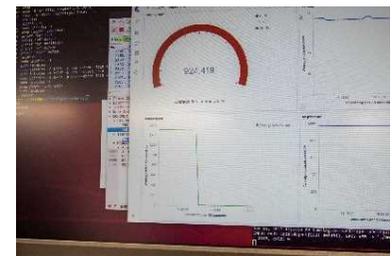
訓練時間数: 30時間



(訓練を実施する上で推奨される取り組み事例)

実機を用いた演習: 実際に使われている技術を題材とし、具体的な活用事例を用いた演習構成とすることで、速効的な教育ができた。

遠隔講義の実施: 文部科学省「同時双方向型」(※)に準じた実施により、欠席者を最小限とすることができた。



e-ラーニング教材、学習環境 等

(※)大学における多様なメディアを高度に利用した授業について
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/043/siryo/_jcsFiles/afieldfile/2018/09/10/1409011_6.pdf

(受講者等からの声)

- 第一線で活躍されている方の講義により、実務に役立つようなことや、多くの気づきを得た。
- 演習を通じて知識が経験になったため、能力が向上したと感じる。スキルの棚卸と拡充ができたと感じる。
- IoT機器のセキュリティ対策を実践するための基本技術を習得できた。
- 実践的な知識と基礎的な知識の両方を学ぶことができたのは、大変良かった。

(受託事業者) 日本電気株式会社(NEC)

(詳細・問い合わせ先)

厚生労働省HP: URL https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/program_development_text.html#nw
 厚生労働省人材開発統括官付参事官室(人材開発政策担当)政策企画室事業係 03-5253-1111(内線5648)